

# 北海道仮説実験授業フェスティバルでの分子模型づくり

2006. 1. 24 小樽分子模型の会 斎藤一郎

[ichirokasetu@yahoo.co.jp](mailto:ichirokasetu@yahoo.co.jp) <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

2005年8月8日～10日にオテル・ド・レーセンサッポロ（昔のテルメです）で北海道仮説実験授業フェスティバルが行われました。ボクは《もしも原子が見えたなら》の講座のお手伝いと《ゴミと環境》の講座、《ゴミと環境》に出てくる分子模型作り、いつでももののづくりコーナーでの分子模型作りを担当しました。特に分子模型作りの様子についてまとめました。

## いつでももののづくりで分子模型作り

1日目は牛山さんの講演や講座A、食後のコーザがありました。9時に食後のコーザが終わって、「今日は誰も分子模型を作りに来ないのかなー」と思っていたら、「水とエチルアルコールを作らせてください」と1人の男性が来てくれました。どうやら分子模型作りの道具は初めて使うようでした。

「初めての分子模型作り」を読みながら水とエチルアルコールを作ってくれました。

誰もいなくて寂しかったので、作ってくれてとてもうれしかったです。名前も聞けなかったし、感想も書いてもらえなかったので、残念なことをしたと思いました。



また、小樽の方が「酸化鉄を作りたい」と昼間に言ってくれていて、夜に酸化鉄を作りに来てくれました。酸化鉄は資料を用意していなかったのですが、愛知の山田正男さん作成の組み立て台があったので、その台を使って少しずつ組み立てていきました。時間がかかりかかる作業でしたが、地道にコツコツと作ってくれました。

最終的に時間が足りなくなり、残りは次回と言うことになりましたが、確か2段分は作ってくれたと思います。残りの作業はほんの少しですから、また作りに来てくださいね。



10時頃になって、美瑛の尾野さんご夫婦が来てくれて、いろんな話をしながら分子模型を作ってくれました。お二人とも熱心に、そして楽しそうに分子模型を作ってくれました。

この日は奥様の眞由美さんが《もしも原子が見えたなら》に出てくる分子模型を生徒分用意したいと言ってくれ、ひたすら空気の分子模型を切っていました。全体会の会場は12時までしか開いていなかったのですが、できなかった分は部屋で続けてくれました。ずいぶんと遅くまで切っていたようですが、翌朝、元気に続きを切りに来てくれました。

いつか美瑛でも分子模型作りの会をやりたいと言ってくれたのがうれしかったです。春になったらいつでもOKですよ。連絡待ってまーす。



### 《ゴミと環境》に出てくる分子模型作り

2日目は午前中に《もしも原子が見えたなら》の講座のお手伝いをし、午後は《ゴミと環境》の講座を担当しました。《ゴミと環境》は埼玉の吉村七郎さんからお借りしたパワーポイント版で体験講座を行いました。授業書と違って授業者がたくさん補足しなきゃいけないイメージがあって、しゃべりすぎてしまいました。

《ゴミと環境》の講座の後、《ゴミと環境》に出てくる分子模型を作るコーナーがあって、全体会の会場にテーブルを用意し、分子模型を作ることができるように配置しました。この日は長女の恵理菜をアシスタントとして会場に連れてきていたので、準備は結構早くできましたが、参加者がどんどん増えてきて、最初の8名分では足りず、もう8名分の用意をしました。

稚内の宮本さんはいつの間にかどんどんプラスチックの分子模型を作っていて、結構遅くまで作ってくれました。

美瑛の尾野さんはお子さんも連れてきてくれて、家族で分子模型作りを楽しんでくれました。

室蘭の田中さんは、ねばり強く資料を見ながらPETなどのプラスチックを作ってくれました。





札幌の前崎君は分子模型作りの常連さんです。表を見るだけでスイスイと分子模型を完成させていきます。そう言えば室蘭の体験講座の時に一切質問せずに砂糖の分子模型作りを行い、一言だけ話してくれたのが「ここは違うと思います」という資料のミスチェックだけでした。うーん、すごすぎる小学生さんです。

小樽からご家族で参加してくれた方もいて、娘さんとお母さんで楽しそうに話しながら分子模型を作ってくれました。

このときも分子模型作り専用の感想用紙を用意しなかったのが、どんな方が参加していたかについてはすべてを把握していませんが、ずいぶんと楽しんでくれていたみたいです。やっぱり感想用紙はあった方がいいのかなー。



たくさん参加してくれてありがとうございます

今回は分子模型作りの会場が全体会の会場であったこともあり、たくさんの方々に分子模型を作ってもらいました。

分子模型作りってあくまで授業書の道具として用意できればいい物だと思いますが、簡単に作り方がわかって、手軽に道具や材料が手に入れば、いろんな人が興味を持ってくれるんだなと思いました。であれば、ボクがわかりやすい資料をHP上で公開し続けることに意味はあるのかなと思えるようになりました。すべての人がすぐに必要とする資料ではないでしょうが、必要になったときに簡単に分子模型作りの資料を手に入れられるようHPを整備していきたいと考えています。

